

- 1 全体構成 第95号まで(87号を除く)の紙面構成に準拠する。
- 2 体 裁 A4判、100頁程度とする。全原稿縦書きとする(No.12・13・15を除く)。
- 3 文字号数 15級・10.5ポイントとする。

No.	内 容	頁数	執筆・依頼数	執筆字数等	原稿基準	段組数
1	表紙(写真等)		函館市	「表紙に寄せて」30字×20行以内 * 編集後記と同じ頁の上段に掲載		
2	中表紙	1	情報部			
3	写真(道中アルバム)	3	情報部			
4	も く じ	3	情報部			
5	巻頭言	2	会長	54字×30行×2頁(変形1段=上 8字分の余白あり)、顔写真	変形A	縦1段
6	潮 流	4	依頼予定 2編 ・道教委教育長 ・道立研究所長	32字×30行×2段×2頁 (見出し、タイトル・氏名計10行) 顔写真 ※テーマは一任	B	縦2段
7	論 考	13	A・・・4～5編 B・・・4～5編 C・・・4～5編 計13編 ※別紙参照	A、B、C全て 32字×30行×2段 ×1頁 (A、B、Cの各見出し8行) (各タイトル・氏名5行)	B	縦2段
8	特 集	13	情報部 1頁 3編 会員依頼・・・3編 ※別紙参照	テーマ、3編のタイトル・学校名・氏名 会員ともに 20字×30行×3段× 3頁、顔写真 (テーマ、タイトル1頁) (各タイトル、氏名8行)	C	縦3段
9-1	今年の道中 ・道中研究大会を終えて	2	道中研修部長	32字×30行×2段×2頁 (見出し、タイトル・氏名計8行)	B	縦2段
9-2	今年の道中 ・全日中長野大会での 提言概要	8	2編 ・提言者(十勝) ・提言者(帯広市)	両提言者とも 32字×30行×2段×4頁 (見出し10行) (各タイトル・氏名8行)	B	縦2段
9-3	今年の道中 ・各部門の活動 (事務局・各部)	7	・事務局長 3頁 ・各部長 各1頁	20字×30行×3段×3頁 (見出し、タイトル・氏名計10行) 20字×30行×3段×1頁 (タイトル・部名8行)	C	縦3段
9-4	今年の道中 ・各地区の活動	20	全20地区 ※別紙参照	20字×30行×3段×1頁 但し、上段8行分は、地区名、地区を象徴する写真またはカットとそのタイトル)	C	縦3段
10	北海道風土記	9	・情報部 1頁 ・8編 ※別紙参照	「北海道風土記」、写真またはカット 20字×30行×3段×1頁 但し、上段8行分は、タイトル・学校名・氏名)、写真等使用の場合、適宜字数を調整	C	縦3段
11	文芸	10	全20地区 ※別紙参照	32字×30行(タイトル・学校名・氏名5行を含む)、2名で1頁	B	縦2段
12	一般会計予算	1	会計理事			
13	役員・理事	1	情報部			
14	編集後記、奥付	1	情報部			
15	道中会歌(楽譜)	1	情報部			
計		99				

※原稿基準 A:63字×27行×1段 B:32字×30行×2段 C:20字×30行×3段

会誌「全道中」第96号 各原稿の依頼地区・原稿内容等について

ブ ロ ッ ク	原 稿	論考							風土記							特集							地 区 の 活 動	文 芸
		年度							年度							年度								
	地 区	二〇二六	二〇二七	二〇二八	二〇二九	二〇三十	二〇三一	二〇三二	二〇二六	二〇二七	二〇二八	二〇二九	二〇三十	二〇三一	二〇三二	二〇二六	二〇二七	二〇二八	二〇二九	二〇三十	二〇三一	二〇三二		
1	石 狩	B	C	A		B	C			○		○		○						体			◎	◎
	後 志		B		A		C	A	○		○			○		体						徳	◎	◎
	小樽市	B		C		A		B	○				○		○		知						◎	◎
2	上 川	C	B	A		C	B			○		○		○						徳			◎	◎
	旭川市		A	C	B		A	C	○		○		○		○						徳		◎	◎
	宗 谷	A		B	A		C	B		○		○				体						◎	◎	
	留 萌		A		C	B		A				○										◎	◎	
3	檜 山			A	B			C		○		○		○						知			◎	◎
	渡 島	A	B		C	A	B		○		○			○									◎	◎
	函館市☆	C		B		A	C			○			○								知		◎	◎
4	空 知	C		B	A	C		B	○		○		○		○				知				◎	◎
	胆 振	A	C	B		C	A			○		○		○		知						体	◎	◎
	日 高		A	C		A		B	○				○				体						◎	◎
5	十 勝	A		C	A	B		C		○		○			○	徳							◎	◎
	帯広市		B	C		B	C					○		○				徳					◎	◎
	釧 路	B		A	B	C		A	○		○										知		◎	◎
	釧路市		C		B		A	C			○		○		○			知					◎	◎
	根 室	C	A		C		B	A	○		○				○			体					◎	◎
	オホーツク	A	B		C	A	B			○		○		○				徳					◎	◎
6	札幌市	B	C		B		A	C	○		○		○		○		徳				体		◎	◎
		13	13	13	13	13	13	13	8	8	8	8	8	8	8	3	3	3	3	3	3	3	全	全

※ ☆印は表紙依頼地区

1. 「論考」(13地区)の主題

主題A 「心豊かで主体的に生きる力をはぐくむ学校経営」
 主題B 「心豊かで主体的に生きる力をはぐくむ生徒指導」
 主題C 「心豊かで主体的に生きる力をはぐくむ体験学習」

※主題とは別に、論題を付けて下さい。

2. 「風土記」(8地区)

各地区の歴史、人物、文化、産業、風俗、自然等の紹介。なるべく写真や資料等を添付して下さい。

3. 「特集」(3地区)

○テーマ 「学校教育の今日的課題から」～更なる学校力の向上を目指して～

上記テーマについて大まかに「知」、「徳」、「体」のいずれかから迫る内容とし、テーマとは別に論題を付けて下さい。各地区から成果を上げている学校を御推挙願います。

4. 地区の活動(全地区) 各地区の今年度の活動の重点、歩み、今後の方向性等。

5. 文芸(全地区) 詩、短歌、俳句、川柳、随筆、紀行、評論等。

6. その他 執筆にあたっては別紙「編集計画」及び「執筆要領」を確認願います。

7. 原稿(論考・風土記・特集・地区の活動・文芸)の提出期日 令和8年10月30日(金)

- ① タイトル：大文字、太字。
記号、番号なし。文字のみ。
- ②本 文
- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|-----|---|
| | | 二 | | | | 一 |
| 2 | 1 | | 2 | | | 1 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ア | ① | ⋮ |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | | (1) | ⋮ |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |

二

□

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

(2)

□

□ □ (1)

① □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

□ □ □ □ □

1

□

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

一

□

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

□ □

各部業務報

令和 8 年 5 月〇〇日

各地区情報部担当者様

北海道中学校長会情報部
部 長

会誌「全道中」原稿執筆者への依頼方法について

日頃より道中情報部の事業推進にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、各地区における「全道中」執筆者への原稿依頼方法につきまして次の要領でお願いいたします。

記

1 執筆者の報告について

令和 8 年度「全道中」の執筆者を各地区で選出していただき、「原稿執筆者報告用紙」（道中 HP からダウンロード）に必要事項を入力の上、各地区情報部担当者様から、下記の道中情報部担当者に期日【7 月 2 日（木）】までに E-mail により報告してください。

2 執筆者への原稿依頼方法について

（1）用紙のダウンロード

各地区情報担当者様で別紙「全道中・原稿依頼例」を道中 HP からダウンロードし、執筆者のお名前、学校名、内容、字数等の必要事項を入力してください。

（2）執筆者への依頼送信

各地区情報担当者様から入力済みの「全道中・原稿依頼例」を執筆者に送信してください。

3 原稿の提出について

（1）各原稿は執筆者から直接、下記の道中情報部担当者に提出（E-mail）していただくこととなります。

4 全道中の配送について

（1）通常の配布をもって対応することとなります。

〒059-1306 苫小牧市ウトナイ北 2 丁目 5-1

苫小牧市立ウトナイ中学校 山 岸 弘 昇 宛

TEL 0144-57-6451 Fax 0144-57-6452

E-mail: utonai-jhs3@hokkaido.school.ed.jp

（例）

令和8年 月 日

〇〇立〇〇中学校
校長 〇〇 〇〇 様

北海道中学校長会情報部
部長 〇〇 〇〇

会誌「全道中 第96号」原稿執筆の依頼について

〇〇の候、貴職におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、北海道中学校長会の活動に対し、御理解と御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、年度初めには、本会の会誌「全道中」の原稿執筆をご快諾いただき、誠にありがとうございます。いよいよ、会誌「全道中 第96号」の編集時期が近づいてまいりました。

つきましては、校務ご多用の折、誠に恐縮には存じますが、下記要領にてご寄稿いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 内 容 : 「 」
- 2 字 数 () 字 × () 行 × () 段
タイトル・氏名等 () 行を含みます。本文は () 行です。
- 3 執筆上のお願い
 - ・指定の枠を設定し、ワードや一太郎等で作成してください。
 - ・完成した原稿データをEメールに添付して送信してください。
 - ・文中に写真を掲載する場合は、写真だけのデジタルデータをEメールに添付して送信してください。
- 4 ご提出期日： 令和8年10月30日（金）
5. 原稿送付先（お問い合わせ先）

苫小牧市立ウトナイ中学校 山 岸 弘 昇 宛

E-mail : utonai-jhs3@hokkaido.school.ed.jp

学校住所：〒059-1306 苫小牧市ウトナイ北2丁目5-1

学校電話：0144-57-6451 FAX：0144-57-6452

令和8年度「全道中」第96号 原稿執筆者報告

地区情報担当者	氏 名		地 区 名	市 町 村 名	学 校 名
	学校郵便番号	学 校 住 所			学校電話・FAX番号
	〒	学校住所 E-mail			TEL FAX
	原 稿 種 別	執 筆 者 氏 名	学 校 名	郵便番号 学校住所	電話番号 E-mail
全 道 中	論 考< > ※A, B, C			〒 学校住所 E-mail	
	風土記			〒 学校住所 E-mail	
	特 集< > ※知、徳、体			〒 学校住所 E-mail	
	地 区			〒 学校住所 E-mail	
	文 芸			〒 学校住所 E-mail	
	全 日 研 提 言	十勝		〒 学校住所 E-mail	
	全 日 研 提 言	帯広市		〒 学校住所 E-mail	
	表 紙	函館市		〒 学校住所 E-mail	

原稿執筆者報告先

〒059-1360 苫小牧市ウトナイ北2丁目-5-1
 苫小牧市立ウトナイ中学校 山 岸 弘 昇 宛
 Tel 0144-57-6451 Fax 0144-57-6452
 E-mail: utonai-jhs3@hokkaido.school.ed.jp

原稿執筆者報告用紙提出締め切り 7月 2日（木）

※この様式は、道中ホームページにワード形式で掲載しています。（サイドメニュー）専門部会→情報